

宮地遺跡出土墨書土器 土器に書かれた「高」



狭山市教育委員会社会教育課蔵

狭山市立笹井小学校周辺には、宮地遺跡が分布しています。

昭和56年にこの遺跡から、墨で「高」と書かれた土器が発見されました。

墨で文字が書かれた土器のことを墨書土器といい、墨書土器に書かれた文字は、その土器の所属を表すケースが多く報告されています。

そのため、「高」は高麗郡を指し、宮地遺跡は、その影響を大きく受けながら形成された集落と考えられています。



狭山市立博物館蔵

宮地遺跡の東にある今宿遺跡でも、皿の側面に、「高」の字が書かれた墨書土器が出土しています。宮地遺跡同様、高麗郡の影響を受けていると考えられます。

宮地遺跡出土墨書土器

持ち込まれた土器

市内遺跡出土

搬入土器



地元産の土師器甕。砲弾形をしており、極めて薄手に作られています。



常陸産の土師器甕。全体的に丸みを帯びていて、厚手に作られています。

狭山市教育委員会社会教育課蔵

狭山市内の遺跡からは、地元（埼玉県）以外で作られた土器も出土します。

形の違いや、使われている粘土の分析結果から、土器の産地は推定できます。それによると、茨城県や千葉県、山梨県などから運ばれてきたことがわかっています。

高麗郡は、甲斐、駿河、相模、上総、下総、常陸、下野に住んでいた、元高句麗の人々 1799 人を集めてつくられた郡です。

これら周辺の県で作られた土器を持ち込んだのは、高麗郡に関係の深い人たちだったのかもしれませんが。



狭山市教育委員会社会教育課蔵

常陸産の粘土には、金雲母が混入していることが多く、光に当てると、キラキラと輝きます。

市内遺跡出土 搬入土器

白鬚神社に見る高麗

柏原白鬚神社・笹井白鬚神社



笹井白鬚神社



柏原白鬚神社

高麗郡建郡の際に大きな影響力を持っていたとされる高麗王若光は、晩年に白い鬚を生やしていたため、それを祀った高麗神社（日高市）は、「白鬚神社」とも呼ばれました。

また、周辺地域に所在する大小の白鬚神社が高麗郡の範囲と考えられる土地に多く分布しています。江戸時代には、30を超える数の白鬚神社が祀られていたようです。

狹山市の中でも、高麗郡域と考えられている笹井と柏原には、白鬚神社が所在します。



笹井白鬚神社の狛犬

奈良時代に、最先端の仏教とともに、獅子と狛犬（高麗犬：こまいぬ）が、朝鮮半島を経由して渡来したともいわれています。口を閉じているのが狛犬です。

白鬚神社に見る高麗